

令和元年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社  
代表取締役社長兼 CEO 一 木 茂  
(コード 3121 東証 2 部)  
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年  
(TEL 03-5224-4900)

## STOによる当社所有不動産の流動化の検討開始について

当社は、積極的に賃貸用不動産取得を進めておりますが、今般、当社が保有する賃貸用不動産をセキュリティ・トークン化し、金融商品として発行・流通させるにつき、証券会社もプロジェクトチームに加わり、スタンダードキャピタル株式会社（本店：東京都渋谷区神宮前六丁目 12-18、代表取締役：平安名祐太郎氏）とともに、検討を開始いたします。

不動産特定事業法等を活用することにより、信託受益権としてではなく、現物不動産のまま流動化させるとともに、セキュリティ・トークンを活用することにより、低コストで、比較的小ロットでの流動化（STO）について、法制面も含め、検討を開始するものであります。

STOの金融商品としての流通については、第1種金融商品取引業者である証券会社が担う形を想定し、流通に適した商品設計や投資家保護のための制度設計について、検討してまいります。また、スタンダードキャピタル株式会社におきましては、セキュリティ・トークンの規格や流通のためのシステムについて、それぞれ、役割分担のうえ、共同して検討を進めてまいります。

当社といたしましては、資金調達手段を多様化することにより、賃貸用不動産取得に拍車をかけ、財務体質と収益構造のさらなる改善をはかるとともに、今年秋に、仮想通貨交換所「CRYPTOFEX」で、金融商品としてSTOを扱うべく、NASDAQ BALTIC 上場とあわせまして、準備を進めてまいります。

以 上